中学生議員登壇！

中学生が町政を問う

12月18日に多古中学校2年生による模擬議会が行われました。政治を身近なものに感じるとともに、町議会や行政、町民が果たす役割について理解を深めようとするもので、12名の中学生議員が登壇し、日頃感じていることについて一般質問を行いました。

議長
石井 翔大さん

藤崎 優希さん

問 一人暮らしの高齢者等が利用しやすい価格で使える介護タクシー導入の考えはありますか。

答 運転ができない高齢者や体の不自由な方を対象としたデマンドタクシーを土・日、祝日運行しています。運行範囲は町内で、利用料金は片道 500 円です。また、町補助金により社会福祉協議会が平日運行する外出支援サービスは、要介護認定を受けた高齢者や体の不自由な方を対象に、基本料金 300 円と乗車料金 1㎞あたり 30 円で町外へも利用ができます。（保健福祉課 福祉係長）

山﨑 一将さん

問 マイナンバー制度の導入について、町はどのような活用を考えていますか。

答 児童手当や福祉サービス申請に添付していた書類の省略ができるものが多くなるなど、利便性が向上します。また、個人番号カードを利用して図書館での貸出やコンビニでの住民票等交付サービスが受けられるよう、今後検討していく予定です。

（住民課 住民係長）

加瀬 雄一さん

問 誰もがスポーツの出来る環境作りについて町はどのように考えていますか。

答 町では体育協会が中心となり、誰もが元気でスポーツに親しむことができるよう、様々なスポーツの普及・推進を行っています。また、※総合型地域スポーツクラブの母体となりうる各種団体が行っている教室や大会、クラブ活動を充実させるとともに、活動の拠点となる施設として新町民体育館の整備を進めています。

（生涯学習課 社会体育係長）

鈴木 智宏さん

問 区長からの申請がないと街灯の設置は難しいですか。また、町の道路管理はどのように行われていますか。

答 防犯灯は原則として区長からの申請により設置していますが、状況によっては町が電気料金を負担して設置しています。順次照明器具を LED に交換し、経費を減らして設置箇所を増やして行きます。道路管理については、交通量の多い町道を優先して草刈業務委託をしているほか、道路パトロールで道路に草木が繁っていることを確認した場合、町道部分は町で伐採し、私有地は所有者に伐採をお願いしています。（都市整備課 土木管理係長）

曽根崎 雄大さん

問 自然を守るために町はどのような取り組みをしていますか。

答 町では自然を保護するため、都市計画マスタープランを策定し、豊かな自然環境と調和した住みよいまちづくりを進めています。多古台地区についても、宅地開発する面積に応じて公園や緑地を設けたり、街路樹を植えたりと自然環境の保護に配慮しています。

（都市計画課 都市計画係長）

及川 日和さん

問 町では介護に関してどのような支援策を行っていますか。

答 自宅で生活しやすい環境を整えるサービスとして、福祉用具の貸出や福祉用具購入費・住宅改修費の支給があり、サービス費の 1 割または 2 割負担で利用できます。そのほか、デイサービスやホームヘルパーが自宅を訪問して行う生活援助、自宅での生活が困難な場合には施設入所などがあります。（保健福祉課 介護保険係長）

※総合型地域スポーツクラブ…多種目・多世代・多レベルの多様性を持ち、日常的に活動の拠点となる施設を中心に、会員である地域住民個々のニーズに応じた活動が質の高い指導者のもとに行えるクラブ。

菅澤 優斗さん

問 若者の都市への流出を抑え、若者が住みやすい町にするための考えや取り組みはありますか。

答 空港シャトルバスの運行による通勤圏の拡大、企業誘致や起業・創業支援に努めるとともに、多古町に住みながら通勤可能な職場等の情報を発信していきたいと考えます。

（企画財政課 企画政策係長）

飯田 華可さん

問 農業の後継者問題や耕作放棄地への対策は行っていますか。

答 新規就農者の支援を行うなど農業後継者の確保に努めていきます。また、大規模農家・農業生産法人・集落営農の推進により、農作業時間、生産コストを削減することで、農家数が減っても耕作地を引き受けられます。こうした取り組みで後継者不足、耕作放棄地問題の解決が図れると考えます。（産業経済課 農業振興係長）

島津 優衣さん

問 少子高齢化が進む中、人口減少に歯止めをかける対策や取り組みは行っていますか。

答 様々な部署で人口減少対策や少子化対策を行っています。その中の子育て支援策として、こども園では看護師を配置し、登園後に体調不良となった園児を迎えが来るまでお預かりする「体調不良型保育」や一時保育、身近な地域で気軽に親子の交流や子育ての相談ができる「たこ・こどもルーム」など、子育て家庭が抱える様々な負担の軽減を図っています。また医療費助成を高校生等まで拡大し、保護者の経済的負担を軽減するなど、これらは町外に住む若い方々に多古町へ移り住んでもらうための取り組みでもあります。（子育て支援課こども係長）

齋藤 朱里さん

問 町の防災用品の保管状況はどうですか。また、町全体での防災訓練実施予定はありますか。

答 防災機材の整備･備蓄を進めており、発電機、投光器、簡易トイレ、毛布、などを役場や各地区の防災倉庫に配備しています。また、災害発生から援助物資が届くまでの 3 日間に必要な非常食の 59%、飲料水の 91%を備蓄しているほか、各家庭での備蓄のお願いや民間企業と連携して物資供給体制の整備を図っています。防災訓練について、今年度は常磐地区で住民参加型の防災訓練を実施しました。今後も地区ごとの防災訓練を開催していきます。

（総務課 交通防災係長）

佐久間 朱音さん

問 多古中学校にエアコン設置の予定はありますか。各教室へのテレビ設置はできませんか。

答 今後、空調設備整備の検討をしていく考えです。町の財政負担を抑えられるよう、補助金の活用や空調設備の方式、設置費用や維持管理費などを研究し、整備に向け検討していきたいと考えています。

テレビについては、多くの備品を揃えるため購入費の効率的な使い方を考慮し、現状の可動式の使用方法が効率的と考えます。（学校教育課 学校教育係長）

小林 尚輝さん

問 企業誘致や、商店に活気を持たせる取り組みはありますか。

答 圏央道、成田空港機能強化等、企業に有利な条件が整いつつある中、産業振興や雇用創出の観点から、企業誘致の条件、優遇措置を見直していきたいと考えます。商店街の活性化について、商店会有志による「起志回生の会」がイベント等を開催し、賑わいを創出しています。町でも商工会、商店会と協力し、商店街の積極的な活動を支援するほか、県や商工会と連携して創業・起業を支援していきたいと考えます。

（産業経済課 経済振興係長）

模擬議会を終えて

平川 淳一 校長

2年生全員が議場などを見学し、議会を体験できたことは大変有意義だったと思います。これをきっかけに、政治と自分たちの生活のかかわりを知ることで、政治に興味を持ち、できることからすぐ実行してくれることを期待しています。

謝辞

石井 友菜さん

今回の体験をきっかけに、多古町のことや政治に参加することの意義を考えてみたいと思います。

参加したみなさん

- これを機に政治に関心をもちたいと思います。
- 町が防災に強いこと、町づくりや少子化対策等積極的に行なっていることを知りました。
- 「これから」ではなく「今」できることを自分なりに考えていこうと思いました。
- 今まで自分の目線でだけ考えていましたが、町では私たちのことを考え、様々な事業を行っていると知りました。町が少しでも良くなるよう頑張りたいです。